

国語科 小学校 2年

単元名 むかし話を楽しんで読もう
「かさこじぞう」

本時の流れ（第7時）

本時の目標

○音読を手がかりにして、登場人物の様子を読み取る。

・本時の目標と、課題について理解する。

【めあて】

・じいさまやばあさまの様子ができるように声に出して読もう。

・学習場面の音読（範読）を聞く。
・学習場面を音読する。
・読み方を工夫したい部分を選ぶ。

【教師の音読（範読）の留意点】

- 低学年の目標「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること」を意識して音読する。
- 正しく明瞭な発音で、ゆっくり丁寧に音読することを大切にする。
- 児童が自分なりの想像を広げられるように、この段階の範読では、誇張した表現は避けた方が望ましい。

・「おお おお、じいさまかい。さぞ つめたかろうの。」の読み方について話し合う。
・自分なりに工夫して、この部分を音読する。
・音読してみて、気がついたことを話し合う。

CLICK

音読を手がかりにした授業展開の例はこちら

・自分が選んだ部分を工夫して音読する。
・グループに分れて音読をしたり聞いたりして、感想などを話し合う。

評価問題

CLICK

読み方の工夫について一斉学習したことを個別の学習に生かす。

低学年では、工夫したとおりに音声化することは、まだ難しい。音読の巧拙よりも、様子や気持ちなどを考えながら声を出している様子を評価したい。

・学習場面を音読する。
・この場面のじいさまとばあさまの様子や気持ちについて音読を通して気付いたことを話す。

音読を通して気付いたことを発表させ、板書で整理することで、この場面の大体がとらえられるようにする。

・本時の振り返りを行い、次時の予告をする。

「活用の力」を育てる評価の視点

音読を工夫したい部分を自分で判断して選んでいるか、また、自分なりに工夫しようとしているか、ノートへの記述や個別の練習場面でとらえるようにする。

単元の流れへ

HOME